

— 委員対象アンケート結果 —

(1) 統合についての基本的な考え方の共有

資料 1
(修正後)

1 学校統合で特に重要と考える事項	回答人数
子どもの教育環境	12
通学時の安全性	12
通学距離・時間	3
校舎・施設設備	3
将来的な児童数の見通し	3
防災面・避難環境	4
地域とのつながり	6
学校運営のしやすさ	2
保護者負担	0
学校跡地の活用	1
地域のバランス	2
その他	0

2.統合校の位置を検討する際に重要と思う条件	回答人数
校舎の安全性・耐震性	10
教室数や将来の余裕	4
運動場や体育施設の広さ	4
プール等の設備状況	3
通学の利便性	11
スクールバス運行のしやすさ	11
災害時の安全性	12
地域の中心性	4
維持管理費・改修費	3
将来の人口動向	4
その他	2

その他
・地域の協力性
・地域のバランス

3.統合場所	回答人数
①条件次第で判断したい	6
②菊間小学校を統合校とすることが望ましい	4
③亀岡小学校を統合校とすることが望ましい	5
④どちらとも判断できない	1
⑤無回答	1

統合場所を選んだ理由は、
3ページ目から

4.協議会の議論について	回答人数
十分意見交換できている	0
ある程度意見交換できている	4
あまり意見交換できていない	7
意見を言いにくい雰囲気がある	6
わからない	1

(2) 今後の協議会で改善した方がよいこと（要約）

- 多様な意見を尊重し、自由に発言できるような雰囲気づくりに努めたい。（全4件）
…「児童生徒の安全、教育環境に熱心であるがゆえに攻撃的な反論や否定をする場面が見受けられる」「場に緊張感がある」「冷静に話したい」などの意見。
- 各校の校長から、学校現場を知る意見として率直に発言をいただきたい。（全2件）
…具体例）避難経路や安全対策の内容、各小学校の魅力など。
- 保護者は今後の付き合いを考えると発言しにくいと思うので、保護者以外の委員の発言を増やすべき。
- 近くの席の人や同じ代表の方と意見交換する時間を少し取っていただきたい。
- 議事録に残らない形で現役世代が輪になって話し合う形の方が意見が出るのではないかな。
- 事務局の説明が菊間小学校への統合に向いているように感じる。
- 学校統合協議に地域の問題（大人の都合）ばかりが出ている気がする。運動会、学校運営、地域のイベント、学校跡地の問題はどちらの学校に決まっても、菊間と亀岡のコミュニティが協力すればどうにでもなれると思う。子どもたちの安全・環境を第一に考え、統合場所を決めてから地域の問題を考えたい。
- 統合場所を現在と今後数年の児童数の推移（目先の推移）だけで決めると、建物の管理や運動会の整備など対応できない事態になる可能性もある。持続可能な範囲の統合を目指してほしい。（全1件、統合場所の選定理由を含めると3件）
- 前回会議にて、バスの移動は少ない児童数の亀岡小学校が移動すれば良いという意見が出ていたが、統合開始時期の児童数の推移から推測すると大きな児童数の差が今後もあるとは思えない。児童数が少ないから、イコール危険は少ないという認識は危ない。少ない人数の亀岡小学校がリスクは負ってよいという意見に聞こえてしまった。児童数が多い学校の方に統合場所を決めるなら、統合協議としての意義に疑問が残る。人数で手配が変わる通学バスに関しても、どちらの小学校になっても学校運営はきちんと対応策を検討してほしい。
- 菊間町内の道路整備や柵、ガードレールの要設置、危険個所の再確認、現地視察を協議会メンバーで行い、危険個所の優先順位を決め、早急な対応をする話し合いを深く掘り下げてほしい。今治市内と比べても整備の格差がひど過ぎる。市の予算にしっかり組み込み整えてほしい。
- 統合校決定後、子ども・保護者・地域・教職員それぞれの不安を出し、整理しながら進めていくことが大切。事務局から、過去の統合事例で学校が準備してきたことや話し合っておくべきことを参考に示してほしい。

(3) 統合場所についての考え（1ページ目「3.統合場所」の選択理由）

統合場所	回答人数
①条件次第で判断したい	6
②菊間小学校を統合校とすることが望ましい	4
③亀岡小学校を統合校とすることが望ましい	5
④どちらとも判断できない	1
⑤無回答	1

回答の理由（要約）

①条件次第で判断したい

- ・両校のメリット・デメリットをあまり把握できていないため。保育所と合同訓練をするなら亀岡小がよいし、学校の敷地が広い方がメリットがあるなら菊間小がよい。
- ・条件が整った上で、子どもたちの教育により良いと思える方に決定したい。
- ・校舎、施設、設備等については規模の違いはあるが、安全性や使い勝手などに大きな差はないと思う。通学の利便性、安全性については一長一短あると思うが、どちらにしても周辺道路の拡幅や乗降場所の整備等が必要。それらの計画がある程度具体的に示されることで判断しやすくなる。
- ・亀岡小を統合校とした場合の、菊小児童の登下校は現実的にどうするのか。そこがはっきりとし、安全性が確保できれば統合校はどちらでもよい。
- ・委員や地元住民は母校愛が強く、協議会で統合場所の決定は難しい。今後、両校区の出生数・学校環境・学習条件も大差ないと思われるので、教育委員会で協議内容を総合的に判断して統合場所案の提示をしてほしい。（④どちらとも判断できないも同時選択）

②菊間小学校を統合校とすることが望ましい

- ・人数が多い方に統合するのが基本的に様々な面でよいと思う。
- ・スクールバスについては、運転手の確保が難しいのに、数台手配できるのか、出来たとしても安全対策をしっかりとってもらいたい（ニュースの事故のようなことにならないように）。
- ・災害が起きた場合、亀岡小は道路よりも低い位置にあるため河川氾濫や津波が心配。
- ・現在でも菊間小の運動場が広すぎるとは思わないが、亀岡小と一緒になれば人数も少し増えるため、広い方に統合した方がよいと思う。
- ・現状では、菊間小の方が人数が多いので、全体として通学の負担が少ない。
- ・通学バスの議論で出たが、亀小（38名）が移動するのと菊間小（63名）が移動するのでは、少ない人数が移動する方が安全性は高いと思う。経費の面でもバス1台にする方が現実的だと思う。
- ・第一に、通学時の安全を確保した上で、教育面の充実や地域とのつながりが密接で豊かな心を育めるような学校になってほしい。また、将来にわたり菊間に小学校を存続させ、今後の子どもたちの母校はあり続けてほしい。そのためには単なる統合ではなく、地域全体で子どもを見守る体制づくりや、菊間ならではの特色ある取り組みなど、新たな学校のあり方に挑戦し、町外からも通いたくなる魅力的な学校を目指す必要がある。

③亀岡小学校を統合校とすることが望ましい

- ・現状の人口推移で、施設が広い菊間小に統合すると校舎内や校庭の掃除その他で子どもたちや保護者に負担が増えると考えられる。
- ・今は、PTA会長が運動場の整備をできていても、今後、PTA会長をする人がいなくなるかもしれない。一人ではなく、保護者が協力して活動する姿を子どもたちが見ることが大事だ。

③亀岡小学校を統合校とすることが望ましい

- ・保育所が亀岡に統合され、菊間の保護者も毎日の送迎で亀岡に来ている。道中で将来通う小学校を見て声かけなどをすると、子どもたちも夢を持てると思う。菊間には菊間中が残っている。
 - ・熱が出た時などは10分でも早く病院に連れていける。
 - ・行事の時の駐車場も悩むことなく置ける（特に運動会）
 - ・将来、児童数が激減することを考えて施設・設備を管理可能な学校を選ぶのが適当であると考え。子ども・保護者にとってもメリットとなる（今の児童数であれば菊間小でいいが、児童数の減り方が大きい）。
 - ・児童数が減少しても、行事、環境整備、体験活動などで今ある地域の財産（地域力）を生かせる。
 - ・支所に近い菊間小校舎は、地域活性化の拠点として利便性が亀岡小より大きい。統合は今現在の学校のことを考えるのではなく、将来の学校を考えるためにあると考える。（将来の学校像を考えるのが私たちの役目）10年先には両校で通学バスの台数は変わらなくなると思う。
 - ・亀岡地区に小学校と保育所を配置し、菊間地区に引き続き中学校を継続することで、子どもたちにとって地域全体がふるさとになり、地域の格差が起きずに、町おこしもとても展開しやすいため。
 - ・亀岡地区は、地域のコミュニティ活動が撤退せず、現在も小学校活動をフォローし、子どもファーストで年間行事を組んでいる。この地域遺産は活用すべき
 - ・亀岡保育所と小学校はこれまで合同避難訓練や田植えなど、継続的な交流を行っており、保育所児にとっては入学への安心や期待につながり、小学生にとっても思いやりや責任感を育む貴重な機会となっている。保育所と小学校が近接していることは、防災面や子育て環境としても大きな価値があり、「知っている場所」「知っている大人」が地域にあること、卒園後もつながりを感じられる環境、兄弟姉妹が近くで過ごせることは、子どもの安心感や健やかな成長に寄与する。保育所から小学校への成長の連続性を守る意味でも近接は意義がある。学校統合にあたっては施設や通学面だけでなく、地域とのつながりも重視すべきである。亀岡小学校は小規模ながら地域の協力に支えられて長年運営されてきており、保護者の負担軽減や持続可能な学校運営の面でも地域との連携は不可欠である。将来的に児童数が減少した場合、PTAだけの運営には限界があるため、行事を縮小するか、地域に頼るかの選択になる。どちらの学校になるにしても、地域と協力する体制が重要となる。
- 以上より、安全・教育環境・持続性を総合的に考え、小規模でも地域・保護者・学校が協力することで長年安定して運営されてきた亀岡小学校を統合校として活用することが望ましい。

⑤無回答

- ・菊間小と亀岡小の子どもは菊間中学校へ問題なく通学をしていることを考えると、どちらの学校かは自ずと知れると思う。学校環境は両校でほぼ変わらないと考えるため、児童と保護者の今の問題・リスクを取り除くことを優先したい。

（４）統合にあたり不安や懸念していること

- ・通学時間、地域との関わり
 - ・統合に伴い、父兄や地域にしこりが残った場合、児童生徒に影響を及ぼさないか。
 - ・統合後、様々な問題点、改善点が出てきた場合、早急に対応できるか。
 - ・遠距離通学児童が、登下校の送迎により、学校活動に規制がかからないか。
 - ・廃校となった小学校区の住民と児童生徒の交流が懸念される。
- ・協議会中、議員同士の意見の違いから、強い言葉が出たり感情的になったりという場面が見受けられる。子どもたちのことを第一に考えているからこそ、各々が真剣に意見を述べているのは理解できるが、このような状況が続くことに不安を感じる。子どもたちが今回のやりとりや話し合いの内容を知ったとき、嫌な思いや悲しい思いをするのではないかと心配する。お互いの思いを尊重しながら子どもたちに誇れるような話し合いの場であってほしい。議事録にも残るし、保護者同士、議員同士との溝が深まらないことを望む。

（４）統合にあたり不安や懸念していること

- ・将来、子どもの人数が減少し、菊間から小学校がなくなるかもしれないと心配する。
- ・亀岡は行事が多い等と言うが、それが出来る地盤を今までの人が作っている。多いようでも、今の人数（子ども・保護者）に合わせて変化させている。
- ・子どもたちの行動範囲が広がるので、子どもだけで移動する際の危険性
- ・閉校となる、地域とのつながりがなくなるのが心配。
- ・運動会、夏祭り、文化祭など同じような取り組みをしているものは、この先必ず人口減少していくので、この際に統合して、菊間・亀岡が協力して運営していくのも良い。
- ・自身の子が、学校と支援センターと面談などをしてより良い支援を配慮してもらっている。少人数だから細かな支援や個別の対応をいただいていると思うと、人数が増えることへの不安がある。また、統合にあたって、学校の先生が大きく変わってしまうと子どもたちも不安だろうし、引継ぎなど適切に行われるかも心配。
- ・統合校が決定した後、保護者説明会での対応をしっかりとっていくこと（合意形成）
- ・子どもの心理的不安への対応（交流等・丁寧な対話）
- ・空き校舎の活用（利用計画）
- ・住民説明会はするのかどうか。
- ・廃校になる側の校舎の活用を利用しやすいものとなるように出来るだけ制約を少なく考えてほしい。
- ・互いの保護者や地域住民の感情が対立したり、分断したりしないことを願う。
- ・登下校の安全性JR利用の話も出ていたが、駅員もホームドアもない無人駅で6才の子が通学するのは難しいと思う。
- ・話し合いの長期化で保護者同士の溝、委員の負担が増えているように感じる。そして吸収合併に感じない努力が、協議会でもPTA活動でも、今後より一層必要になると思う。
- ・菊間小学校、亀岡小学校、きくま保育所以外に通っている人には、菊間町内在住でも統合協議が行われていることも周知されていないと聞く。ホームページや紙面だけでなく、直接声かけを行い、統合への関心、協力体制を整えたい。地域の垣根を超える意識は、委員や両校の保護者だけが持っている傾向にあるため、老若男女問わず町全体に現状を呼び掛けることで今後の歩み寄りがスムーズになる。
- ・菊間に住んでいる子たちが亀岡へのバス通学は現実的ではないと感じている。（数が多い方からの移動という点で）

(5) 子どもたちにとって望ましい学校環境とは

- ・学習能力の向上に向けた取り組みは勿論、地域学習により地域の方々と交流を深め、地域全体で児童生徒を見守ることにより、児童生徒が伸び伸びと学校生活ができる環境づくり。
- ・安心して学び生活できる施設環境が整っていること。
- ・安心安全に通学できること。
- ・災害時に子どもたちの命が守られること。
- ・地域の人とのつながりを感じられること。
- ・信頼できる大人たちに囲まれていること。
- ・教職員がゆとりをもって子どもにかかわれること。
- ・統廃合を繰り返さないためにも将来にわたって安定した学校運営ができること。
- ・多くの人と関わり、人間的に成長できる環境
- ・楽しく元気に学校生活を送れる環境
- ・地域のつながりも大事。亀岡小の運動会は午後もあるが、準備その他は地域の人が手伝ってくれる。その姿を見る子どもたちはそれがまた勉強になる。
- ・第一に子どもが安全で楽しい学校生活を送ること。そのために保護者や地域が協力していくのが大事だと思う。
- ・生き生きとして毎日楽しいと思える環境が望ましいが、どんなことでも話せる先生がいることも大切。
- ・統合した後、子どもの不安に寄り添えるだけの教職員配置等を望む。
- ・今後、どんな学校を目指すのか、どんな教育をしたいのかが大切になってくる。そのことが、望ましい学校環境につながってくる。
- ・少人数だから大規模校と比べて実施できないことが増えるのではなく、少数ながら他の学校にはない特色を持つ、恵まれた環境で伸び伸びと学習できる学校
- ・遊具、備品が常に整い、壊れて使えないまま放置された物がないように。
- ・安全、安心であること。保護者同士、学校と家庭、地域との関係が良好であること。
- ・出来れば1学年20人程度の2学級あるのがよい。せめて複式学級はなくしたい。
- ・安全かつ相談できる人が家庭以外（学校関係）にも存在すること。自分が挑戦したい、やってみたいと興味があるもの、ことに挑戦できる環境があること。
- ・学校は地域の避難所や祭り、文化祭など、コミュニティの核として機能しており、各地区に学校は必要不可欠。また、学校があることで、地域も子どもたちのためにと活性化や整備への意欲が衰えずにいる。そのことを踏まえ、学校清掃や小学校行事に地域の応援隊がいるという亀岡地区の地域遺産を必ず活用するべきと考える。地域の協力によって、学校を管理する教職員の減少をフォローでき、保護者の負担軽減にもつながる。
- ・今年度から保育所が亀岡地区に統合されており、幼少期から小学校時代まで連携が持続できる体制にある。親子で小学校への入学の見通しがつきやすい。隣接していることで交流がしやすい。地域の環境も年中整っている。（草刈りや整備の体制が行き届いている）スムーズな小学校入学へ繋がる学校環境への第一歩が整っている。
- ・今後は小・中学校で九年間同じ仲間てクラス替えもないため、子どもたちの人間関係は長期に及ぶ。中学校は菊間地区、小学校は亀岡地区で学校生活を送れるよう菊間町内でも環境を変えることで、児童の心機一転に繋がり、様々な部落、地区との関わりから、菊間町全体を郷土愛へと感じる心が育つと確信している。

(6) 各委員が所属する団体等ほか地域からの意見や要望など(要約)

- ①公共交通機関からの距離や国道からの距離等を考えると亀岡小学校の校舎を活用する方がいいのではないかな。
- ②現在、運動会や運動場の清掃作業・盆踊り・文化祭等、地域行事を小学校・保育所・地域が協力して行っているが、統合後も菊間全域で同じような協力体制を築けるかどうか、地域住民から不安の声が上がっている。
- ③今回統合しても、数年後には現在の菊間小学校以下の生徒数になると推定される状況で、10年後まで小学校が維持できる未来が見えない。
- ④今回、菊間に拘らず大西小中学校との統合を考えてはどうか。大西なら電車で通えるのではないかな。

・亀岡は先人の地域コミュニティがあり、PTAとして活動するにしても持ちつ持たれつの関係があると聞く。子どもたち一番で考えていただきたい。菊間小PTAは自分たちで解決できる間は頑張るつもりがある。だが、今の亀岡の関係は？と考える。

・近年、地域にあった公民館も廃館となり、地域のコミュニティの場所もなくなり、なおさら学校が廃校になると地域活動も難しくなる。学校は地域の活性化の場所であり、コミュニティの拠点でもある。コミュニティの場所として災害時の避難場所として機能できるよう配慮してほしい。

- ・統合後の地域活性化
- ・10年、20年先を見据えた対応が必要

・現役の保護者の意見を大事に吸い上げて、より良い統合になることを願う。

・菊保・亀保の統合では、子どもたちはすぐに仲良くなり、人数も増えて楽しいと言っている。子どもたちは大人よりも環境に適用する能力が高いと思った。統合をきっかけに、これまでの古い慣習もアップデートして変化させることも大事だと思う。

- ・JRの利用も検討してほしい。
- ・児童館、児童クラブは利用しやすい環境で設置してほしい。

・最近は地域全体で子どもを見守る「切れ目のない子育て支援」が大切だと聞く。保育所と小学校が近くにあり、保育所との合同防災訓練などの様々な地域との行事はその実践例であり、保育所と学校と地域が連携して、子どもたちを継続して見守り支える環境にある。

現在、菊間小学校と菊間中学校は隣接しているが、今現在、何か連携して行っていることや交流はあるのか知りたい。残したい交流行事があれば教えてもらいたい。

・これまでの話し合いで、地域とのつながり、施設状況、人数動向、通学方法など様々な視点から意見が出されているようだが、最終的な判断基準が不明瞭で共有もできていないように感じる。どちらの学校に決まったとしてもどのような基準でその結論に至ったのか、しっかりと納得できる丁寧な説明を保護者や地域住民にお願いしたい。

・地域のバランスを考えてほしい。菊間地区には既に中学校がある。亀岡地区にも学校を一つ残す、小学校という教育拠点が存在することで、それぞれが、地域の交流、防災、子育て支援など多様な役割を担っていけるのではないかな。

（６）各委員が所属する団体等ほか地域からの意見や要望など（要約）

・（壮年会の意見）

菊間地区小学校合併に関する私見

現在、菊間小学校・亀岡小学校の合併については、総論では基本合意がなされており、これに向かって階段を上がっている状況であると理解しております。

各論として、私見を申し上げます。

約10年余前にもその話が持ち上がり、PTA・教育員会等各組織間での協議が重ねられましたが、当時は亀岡小学校の児童数も100余名在籍し、その後の通学手段等の具体策もまとまらず、この協議は断念されたと記憶しております。

それから時が過ち児童数も激減し、今後社会の少子化の減少にある状況に鑑み、今治市教の管内小学校の合併・統合計画に基づいた方針により、再度合併協議が必要であるとの認識に至ったものであると感じております。

総論的には、小学校2校の合併については賛同いたします。

亀岡地区の公民館活動としては、一部に以下のような話があります。

現菊間小学校に移れば

○夏の盆踊り大会・秋の大運動会・冬の学習発表会等の休止は、やむを得ない。

○地域コミュニティ活動の内容縮小もありうる。

等のネガティブな意見も多く出ております。

については、現在2小学校校舎の新旧・耐震性及び各施設の今後の維持管理等々を熟慮され、同協議会の熟考に期待します。

・（愛馬会副会長・NPO法人菊間会代表の意見）

馬がいる学校はいいが、小学校でお供馬のような大きい馬を世話するのは難しい。新潟の栗島の学校は小さい馬であり、近くに牧場がある。いつも大人がついているわけにはいかないと思う。中学校などでは、飼うこともできる。中学校は総合的な学習で馬の世話もしている。小学校は、今作っている「ふれあい体験」でお供馬の勉強もしている。今の形でいいと思う。愛馬会では、10年先のことを考えて、馬のセラピー等に取り組んでいる。将来のお供馬の事をいろいろと考えて、その他も、取り組みを考えている。学校統合も、しっかり将来のこと、先のことを考えて、いろいろなことに取り組んでほしい。

（地域からの意見）

①保育所も、亀小の近くにきた。統合を機会に保育所、小学校、地域（菊間全域）が協力した他地域に誇れる運動会にしていきませんか。菊間全体の活性化に役立つ統合にしていきたいと思います。（このことが必ず子どもにも生きてくる）

②今現在、亀岡の運動会は、菊間で一番大きい企業、太陽石油の職員もリレー等参加してくれている。亀岡地域といろいろな面で関係の深い太陽石油は、将来、学校運営の面でも必ず役立ってくる。そのことは、学校にも、子どもにも必ずメリットになると思う。

（７）教育委員会や市への要望（要約）

・協議会で話し合う前に現時点の統合校案（方向性）を早く出してほしい。

・菊間小と亀岡小が統合しても1クラスに変わりはなく、数年後にはすぐ複式学級が出てくる。そうならないために、過疎地域をもっと活性化してほしい。

・廃校利用について、子どもの教育に直接関係ないが、学校は地域のコミュニティの中心的な役割を担っていたため、今後の地域活性化に必要であり、学校関係者だけでなく、市全体（各部署）で有用利用を協議する必要があるのではないか。

(7) 教育委員会や市への要望（要約）

- ・スクールバスは2台確保できないと聞いたが、1台でも時間差運行や登校時間に幅を持たせるなどの方法を検討できる。「①1便あたりの乗車人数②各ルート of 所要時間③登校時刻の設定④安全な乗降場所の確保⑤学校の近くまで大型車（バス等）の移動が可能か」を提示してほしい。
- ・施設の老朽化の状態について、市は2校の施設訪問を行い、具体的に比較検討してほしい。教室、水回りの清潔さや使いやすさ、体育館、校庭、管理のしやすさ、トイレの数など把握しているか。トイレの数や教室数は児童数に見合っていない。現在、使用可能なトイレを制限しているが、使用していなければ管理が行き届かず、汚染や老朽化が進む。汚いトイレが使いたくないと我慢する低学年児童が出るかもしれない。今後数十年、子どもが1日の半分以上を過ごす施設として比較検討して、状態や今後必要な管理コスト、改修費の比較資料を可能であれば出してほしい。保育所含め保護者も学校施設を見学したい。
- ・施設管理に関しては、PTAだけでは成り立たず、地域の協力が得られなくなったときには、市として支援してもらえるのかどうかも知りたい。（清掃業者へ委託するなど、草刈りなど市の担当課が支援してもらえるのかなど
- ・人口増加対策の強化
- ・将来、中学校は大西へ統合となると思うが、小学校は菊間に残してほしい。
- ・教育委員会や市から、現状を踏まえてどちらの学校が現実的にふさわしいかを第三者の意見として教えてほしい。協議会のメンバーはほとんどそれぞれの地域出身で、少なからず自分たちの地域に学校を残したいという思いがあると思うので、大人の都合なしで子ども第一とした中立な立場の意見を聞きたい。
- ・保育所は建替える予定はあるか？（菊間小へ統合ならそちらに）
- ・統合にあたって全てのトイレを洋式化にしてほしい。
- ・支援級を軽度の発達障害のある子どもが気軽に利用できる体制を作してほしい。
- ・統合先に選ばれなかった学校をどのように有効活用するのか。
- ・地域や市の人口増加に向けて、方法や対策などを、どの程度考えているのか。
- ・年少からきくま保育所に通いはじめたとしても2年間は新しく入る子がほとんどいない（小学校入学時のみ）というのは、年頃の子どもにとってはとても辛いことだと思う。何か対策や考えはあるのか？狭い世界しか知らず、いじめなどあった場合、不登校など考えられる。
- ・人を（町内に）呼び込むようにしてほしい。
- ・バス3台を出すのは実現が難しいかもしれないとあったが、どちらの学校になろうとも、バス、運転手については、しっかりと確保してほしい。でなければ、統合協議をしている意味がない。バスの配置、運行など安全管理については、市や教育委員会の方で、しっかりやってほしい。安全教育については、学校が責任をもってやってくれると思う。
- ・菊間町にはJRが通っており、国道沿いでもあるのに、合併後どんどん寂れ、商店がなくなり、コンビニが2つあるとはいえ、Aコープは日曜日は定休日 で日用品の買い物もかゆい所に手が届かず、町内で完結できない。外食産業もなく、若い人がUターン、Iターンを考えるのも難しいので、せめてコスモスのようなドラッグストアの誘致をお願いしたい。生活の改善から、若い人・子どもたちを増やす方向につなげたい。統合後の学校は柔軟な運営がしやすいよう、特例的に許可させるものは積極的に検討をお願いしたい。
- ・話し合いの内容を踏まえて、統合校をどちらにするかは、教育委員会が判断したらよい。

(7) 教育委員会や市への要望（要約）

- ・耐震などの安全面に対しての資料説明の時に、今後は近隣の地理状況や避難できる場所があるか等の記載もしてほしい（近隣の環境）
- ・亀岡地区に津波が来るなら、菊間地区にも勿論津波は来る認識を持つ話を必ずしていただきたい。津波到達想定時刻や対応など、きちんと保護者や委員からの質問に正確な返答をしてもらいたい。
- ・菊間小学校は川に挟まれており、川の氾濫も近年実際に起こっており、その危険性も知っておきたいため、必ず調べてほしい。また菊間川が土も草も整備できていない時期に氾濫が過去おこり浸水した個所もあるため、統合場所になる・ならない以前にしっかりと地域の管理体制の見直しも考えるべきだ。
- ・菊間地区の小学校以外の避難場所、高台の場所と距離を教えてほしい。
- ・亀岡地区は菊間児童館と同様に児童館がきちんと運営できていること、また亀岡地区が統合場所になったら、統合場所の小学校に学童が存在することも提示してほしい。
- ・通学バスの運用は数年先の推移で検討するべきでない。将来は児童数が減ることも踏まえ、同じバスを2回出すなど柔軟に対応して、町内すべての子どもがスムーズに通学できるように、どちらの地区になっても安心できるコースを考えてほしい。
- ・統合先になった地区の近隣の方が学校への清掃や運動場整備などボランティアなどの対応をしっかりとできるのか、きちんと検討・調査してほしい。
- ・現在の小中連携は職場体験と体験入学程度でありあまり交流は少ないが、今後も他地区の中学校に流れないように、しっかり魅力作りを検討してほしい。また、中学校と隣接ではなく、保育所と小学校隣接の大切さをきちんと検討してほしい。
- ・どちらの地区が統合先になっても、亀岡地区・菊間地区の地域行事をしっかりと行うことができることを示してほしい。統合によってあらゆることができなくなる意識をととても強く感じるので、前向きな統合意識へ向かうように協力してほしい。
- ・市内の他の統合検討地域の状況や委員同士の意見交換の場をもっと早い時期に持ってみなかった。統合場所がきまってからでも今年度にもし可能なら、意見交換会を開催してほしい。今治全体の統合イメージを良い印象にして盛り上げることができないか。
- ・各地区に児童館を必ず残していただきたい。バスの最終地点にいただきたい。
- ・人数の推移をみても、体育館の大きさや2階の有無、教室数、トイレの配置（バリアフリーは両地区完備）も、そこまで完備できていなくても良いと思う。亀岡小学校が狭いという認識は今後統合したとして考えられる児童数からして、決して狭くはない。今後の児童推移に見合った建物管理で統合を進めてほしい。
- ・統合会議の委員が負担にならない会議の進行をしていただきたい。保護者には統合場所の検討はできても、相手校の否定になるので深い意見はしにくい。中立の立場の方の意見やフォローが本会議では少ないと思う。
- ・会長、副会長はもともと委員として選出されており、菊間町全体を知っている立場で子どもたちを見守ってきた人の意見は貴重だと思う。今後も発言してもらいたい。
- ・様々な意見交換をすることで良い統合会議を目指したい。自分の地区に小学校を残したい地元愛を委員は少し胸にしまい、全体像を見る大切さをしっかり認識したい。本末転倒となり統合の本質を失わないよう、相手の地区への配慮を持ち合うことで、どちらの地区の小学校が統合先となっても、良い方向へ向かえると思う。
- ・菊間町内で小学校内に複合施設は向いていないと思う。もっと市内の住民数がある小学校地区で進めるべきだ。菊間では、根本的に空き地や空き家の見直し、道路整備やスーパーマーケットなどの見直しや増設など、住民の衣食住（生活基盤）を整えることで、地域活性化を考えてほしい。すると、住民数の推移もあがり、今治市全体の底上げにもつながると思う。松山市に近い地域として町おこしも企画していただきたい。
- ・既存の統合例は参考にしつつ菊間に今後学校が残り続けるような、新たなモデルとなるような前向きな取り組みや学校作りを一緒に考えてほしい。菊間町自体の活性化のため何ができるか、何が効果的かという点を同時に考えてほしい。